

## 「自閉症支援の今と未来」

～自立と社会参加に必要なコミュニケーション支援～

講師：門 眞一郎先生  
(京都市児童福祉センター)

### 1. 障害のある人の権利に関する条約について

#### ● 障害者権利条約

日本は、2014年に障害者権利に関する条約を批准した。批准に向け、障害者基本法の改正や障害者総合支援法の成立、障害者差別解消法の成立等、各法の成立や整備が進んだ。「医学モデル」から「社会モデル」の考え方へ移行した。

社会的障壁の除去の実施について必要な合理的配慮の提供をしなければならなくなった。

#### ● 合理的配慮について

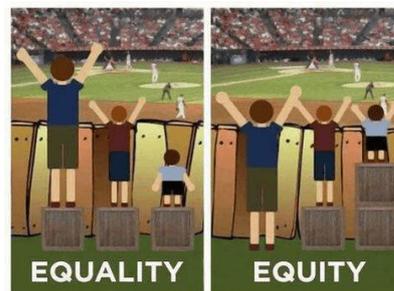
「障害のある人が困っている時に、その人の障害に合った必要な工夫ややり方を相手に伝えて、それを相手にしてもらうことを、合理的配慮といいます。障害者差別解消法では、役所や会社・お店などが、障害のある人に合理的配慮しないことも差別となります」(内閣府 HP より)。

#### ● 機会の平等 VS 結果の平等

左側の画像では、どの子にも同じ高さの台が用意されている。一見、平等に見えるが、背の低い子どもは壁の向こう側を見る事ができない。結果的に平等ではない。

しかし、右側の図では、一人ひとりの背丈合った台が用意されている。結果として、全員が壁の向こう側を見る事ができる。

平等の機会を与えることが大切でなく、一人ひとりに必要な支援をし、同じ結果になるような工夫が必要である。それが真の平等である。



### 2. 自閉症スペクトラム(障害)について

#### ● メリハリについて

自閉症スペクトラムのアンバランスさのことを「発達凸凹(でこぼこ)」という表現が使われることがある。私は、「メリハリ」という表現を使うようにしている。「メリ」が弱み、「ハリ」が強みである。

自閉症スペクトラムの人々は、「ハリ(強み)」に注目し、そこを活かす支援が大切である。逆に「メリ(弱み)」は必要な支援をする必要がある。自閉症スペクトラムの人々は、「メリ(弱み)」である音声のみの指示では理解できないことが多いが、「ハリ(強み)」である視覚的な支援を用いて伝えれば理解できることが多い。

#### ● コミュニケーションについて

自閉スペクトラムの人々に限らずどんな人でも目が見えている場合は、情報の80%の拠り所が



視覚情報である。ましてや視覚的支援が必要な自閉スペクトラムの人々には、わかりやすい視覚情報を用いてのコミュニケーションが必須である。絵カードやサイン、ICT 機器等を利用し、ことばを補助する手段を用いることを補助代替コミュニケーション(AAC)と言う。自閉スペクトラムの人々は、補助代替コミュニケーションの支援が大切である。

コミュニケーションは、相手のことを理解する「理解」コミュニケーションだけではない。

本人から発信する「表出」コミュニケーションもあり、そこを学習することも大切である。

### ● コミュニケーションの機能

コミュニケーションの機能には、主に「要求」と「コメント」がある。伝えたことが直接得られる(物的強化)「要求」から教えた方が、学習が進みやすい。PECSは、「要求」から教え、フェイズVIで「コメント」を教える。

### ● 欠点

今までのコミュニケーション学習の欠点は、応答による学習がほとんどであったことである。

「何がほしいの?」「どこ行きたいの?」等、聞かれたことに答える学習スタイルである。応答によるコミュニケーション学習は、プロンプト依存(指示待ち)になりやすい。自発的なコミュニケーションを育むことが難しい。PECSは、初めから自発的な表出コミュニケーションを教える。学習が進むと、他にも必要な表出コミュニケーションや理解コミュニケーションも合わせて教えていく。

## 3. PECSについて

### ● 対象者

PECSは子どもだけではなく、年齢も障害も関係なく、幅広い人々が使う事ができる。PECSの基盤は応用行動分析でできている。

### ● PECSの6つのフェイズ

PECSは、6つのフェイズの指導プログラムがある。

- |   |
|---|
| (フェイズ0) 準備：強化子アセスメント、絵カード作成。                      |
| (フェイズ1) 絵カードで自発的に要求する。                            |
| (フェイズ2) 離れた位置から絵カードを自発的に交換してきて要求する。<br>(自発的な対人接近) |
| (フェイズ3) 要求に使う絵カードを弁別し、自発的に選択する。                   |
| (フェイズ4) 「〇〇ください」という文で自発的に要求する。                    |
| (フェイズ5) 「何がほしい?」と聞かれて応答的に要求する。                    |
| (フェイズ6) 質問に応答的にコメントする。自発的にコメントする。                 |

### ● 強化子

ある行動の直後に出現した場合に、その行動が繰り返される刺激や出来事を強化子と言う。

アイテムや活動が得られることを「物的強化子」、人からの反応や賞賛等が得られることを「人的強化子」と言う。PECSは、人的強化子も物的強化子も使う。

### ● 指導の実際

PECSの6つのフェイズと「ないの伝え方」の指導方法を多くの動画とともにご講義いただいた。

## ● PECSのすぐれた点

- ・実用的で、自発的なコミュニケーションを教える。
- ・プラスの効果をもたらす要求から教える。
- ・トレーニングは、意欲が低下しないエラーレス・ラーニング(無誤学習)。
- ・最初から般化を組み込む。
- ・手渡すので相手を意識するようになる。対人接近が確実になる。
- ・前提スキルが極めて少ないので、早い時期から開始可能。
- ・自発を目指し、プロンプトを早くフェイドするので、指示待ちにならない。
- ・コミュニケーションが成立することで信頼関係を築きやすい。
- ・唯一の欠点が「自分で絵カードが作成できない」だったが、iPad アプリの開発でそのことも可能になった。

## 4. PECSの iPad アプリについて

PECSは、iPad のアプリも開発した。現在、アプリ購入に 10,400 円必要。「高か過ぎる」と言われることがあるが、1 年使用すれば一日単価が 28 円、3 年使用すれば一日単価が 9 円である。一日当たりそのくらいの価格であれば、その子に必要な支援が得られると考えれば十分安いと思う。

アプリ導入は、最低でも PECS のフェイズ 4 までは習得しておく必要がある。ただし、使う本人がアナログか iPad を使うか決めることが重要である。また、電源がなくなったり、機械の不具合を生じたりする可能性があるため、iPad を導入しても PECS ブックは使用できるようにしておく。

## 5. PECSを学習する方法

### ● ワークショップ

ピラミッド教育コンサルタント・オブ・ジャパン株式会社のホームページ(<http://www.pecs-japan.com>)を参照。

### ● 門先生のブログ「児童精神科医 門眞一郎の落書帳」

第 3 分冊に PECS 関連の情報あり。 (<http://www.eonet.ne.jp/~skad/book3/book3.htm>)。

## 6. 西陣麦酒計画について

自閉症スペクトラムの人達とビールを作り、販売する取り組み。ぜひ、HPをご参照。

(<http://nishijin-beer.com/>)

## 7. 最後に

「自閉症スペクトラムの人に、合理的配慮の一つである視覚的な補助代替コミュニケーション手段を保障しないことは、権利の侵害であり、差別的行為であり、心理的虐待であり、ネグレクトである。」(障害者差別解消法 2016 年 4 月施行)。